



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

地域づくりのプラットフォーマーを目指して
(高速道路起点の地域共創)

濱野 昌志 (はまの まさし)

西日本高速道路株式会社 九州支社 地域共創担当部長
兼 本社 事業開発本部地域共創戦略担当部長



○ 登録者情報

所在地

福岡県福岡市博多区

略歴

略歴

1993年：日本道路公団入社

2005年（～現在）：日本道路公団民営化を機に西日本高速道路㈱(NEXCO西日本)に所属

2013年：九州大学産学官民連携 地域政策デザイナー養成講座(第4期)修了(現：地域政策デザインスクール)

2014年：防災士

2016年（～現在）：九州大学産学官民連携 地域政策デザインスクール事務局(フェローとして参画中)

2019年（～現在）：NEXCO西日本(高速道路会社)初の地域共創専門職に就く(現職)

2019年（～現在）：佐賀県小城市地方創生総合戦略有識者会議委員

2021年：宮崎大学産学・地域連携センター(宮大ふるさと探検隊)客員講師

2022年（～現在）：大分県佐伯市ツーリズム戦略会議委員

他にも自治体における会議等の委員参加あり

【招聘講義・講演等】

大学での講義・企業等からの講演依頼、まちづくり講座モデレーター等を年間10回程度

著書・論文等

・2024年 キャリアデザイン学会「地域共創を担う社内起業家のキャリア形成事例」
(九州産業大学小田部准教授と共著)

○ 地域づくりのプラットフォームを目指して (高速道路起点の地域共創)

取組の内容

高速道路はこれまで、地域にある観光資源等の既存市場に対してその効果を発揮してきました。これからは、既存市場に依存するだけでなく、地域の新しい価値を引き出す役目も担っていく必要があると考えています。地域共創活動により、高速道路の持つ機能やサービスを活用し、地域とともに新しい価値を創造する「地域づくりのプラットフォーム」を目指しています。

具体的には移動を「旅マエ、旅ナカ、旅サキ」に3分割し、それぞれの視点で地域や市民との関わりを生み出す取り組みを進めています。

「旅マエ」では、出発地(都市部)で地域の魅力を伝える地域マルシェ等のプロデュースを、「旅ナカ」では、高速道路のSA・PAを起点とした地域送客サービスの企画を、「旅サキ」では、リビングラボの手法を取り入れ、地域資源を活かした新しい価値創出など、各種プロジェクトを発現させることで、関係人口・交流人口の促進につなげています。



佐賀県小城市での市民主体のまちづくり
(リビングラボ)の様子



デジタル音声によるローカルメディア
【関門ONAIR】公開収録の様子

実績

<2024年12月時点での主な実績等>

- ・「旅マエ」：都市部での地域マルシェや大学生主体の地域アンテナショップを企画・コーディネート(15回)
 - ・「旅ナカ」：SA・PAからの地域送客サービス「旅っチャ」を開発・展開中(10自治体で19回)
 - ・「旅サキ」：リビングラボを活用した地域共創活動(佐賀県小城市では新しい地産品開発(4品)、地域周遊体験コンテンツを開発。新たに長崎県東彼杵町でも同種の企画を展開中)や、「動くサービスエリアプロジェクト」の第一弾として宮崎県高原町・同町地域商社と連携した移動販売系共創事業などを企画・展開中
- ・その他、デジタル音声メディア(関門ONAIR/3年半で560配信・180名超のゲスト出演などローカルデータをストック中)やデジタルツーリズムマップの企画運営、商業施設等でのエリアマネジメント(福岡市、大村市)などを企画・展開中

工夫した点や苦労した点

高速道路会社として共創活動実績数や認知が低い中で、地域に対し可能性(便益)を提供しご期待いただけるよう、外部での学びにも注力(地域政策デザイン)。高速道路の存在が地域のアイデンティティや誇りとなるようなストーリーを創出したり、高速道路を媒介に地域資源と結びつける新たな体験価値を設計するなどの工夫で、市民の主体的な関与(行動変容)を促すことによる持続可能な地域づくりにチャレンジしています。

ひとことPR

高速道路は半世紀以上続く重要な社会インフラ。その組織で培った(DNA)「調整力」「合意形成力」「事業推進力」といった一連のプロセスは、インフラのみならず、新しい地域づくりにも応用可能と考え活動しています。また、「地域政策デザインスクール」に関わり続けることで、環境変化の速い地域の現状把握にも努めています。今は、リアルとデジタルを融合させ、地域課題を解決する仕組みも創造中です。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	○ その他 まち開発におけるエリアマネジメント
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	○ その他 コンテンツ開発(サイクルツーリズム)
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
○ 自治体間連携	効果の把握・評価
○ 住民参加	○ その他 デジタル音声メディアの活用
EBPMに基づく政策立案	
その他	

関連ホームページ

NEXCO西日本 地域共創活動	https://corp.w-nexco.co.jp/activity/sapa/co-creation/
雑誌TURNS これからの官民連携	https://turns.jp/85179

連絡先

メールアドレス	m.hamano.aa [アットマーク] w-nexco.co.jp		
---------	------------------------------------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。